

図書だより

夏子

平成 29 年 7 月
文京区立本郷台中学校
学校司書 松田飛鳥

もうすぐ夏休みです。暑さに負けずに頑張りましょう。

さて夏の風物詩として代表的な植物の朝顔ですが、私の故郷、熊本では肥後木花の一つに数えられマンホールの蓋にも色付きで描かれています。この朝顔、変異が多様で昔から特殊な色を出すことを競って楽しんでいました。近年では鹿児島大学の研究などで黄色い朝顔が誕生しています。

さて今回、図書館に**新しい本**が入りました。夏休み中にゆっくり読んでみてはいかがでしょうか。

図書館の利用案内

夏季長期貸出が始まっています。

利用日時 平日 12:00~17:00

夏季休業中の開館日は

7月 20日・21日

8月 28日 29日・30日

(いずれも 12:00~17:00)

貸出冊数 1人5冊

貸出期間 9月10日頃まで借りることができます。

※返却されていない本があると貸出できない場合があります。返却期限を守りましょう。

<寄贈のご案内>



国語科の先生より『蜜蜂と遠雷』(恩田陸)をお寄贈頂きました。絶対音感がある人も無い人も楽しめる一冊です。天才ってこんな感じなのかと思いました。コンクールの臨場感もすごく、読み応えがあります。



新着本の紹介

新着本の貸出が始まっています。他にも約 50 冊の本が図書館に届きました。

 <p>『緑の霧』キャサリン・ヴァン・クリーブ (ほるぶ出版) 2017 年 933</p>	<p>緑の霧がもどってきてから、農園のおだやかな生活が狂いはじめた。奇跡の雨は降らなくなり、大好きなエディスお婆さんはある日突然、農園を売ろうと言いだし…。動物と話せる少女・ポリーの成長を丁寧に描いた物語。</p>	 <p>『ネロの木靴』白田夜半 (地湧社) 2014 年 913</p>	<p>成人して、一児の母となったアロアは、思わぬことからネロの死の真相を知り、その原因へとさかのぼる苦悩の旅を開始する。言葉や理屈を超え、生きることの意味を伝える「フランダースの犬」の後日談。</p>
 <p>『本を守ろうとする猫の話』夏川草介 (小学館) 2017 年 913</p>	<p>高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉が話すトラネコが現れ…。</p>	 <p>『サバイバルファミリー』矢口史靖 (集英社) 2016 年 913</p>	<p>ある日突然、電気が存在しない世界に！あらゆる器機が動かなくなった中、東京に暮らす平凡な四大家族の決死のサバイバルが始まる。超絶不自由生活を乗り越え、無事に生き延びられるのか？ 2017 年 2 月公開映画の原作本です。</p>
 <p>『ガチ甲冑合戦でわかった実践で最強の日本武術』横山雅始 (東邦出版) 2016 年 789</p>	<p>戦国時代に実戦的な戦闘術や武術は存在したのか。本当に戦国時代にタイムスリップしたようなガちな合戦を再現する「ガチ甲冑合戦」の結果を通して、合戦で使えた武器や、合戦で勝つために身につけるべき技などを紹介。</p>	 <p>『必ずかわいく作れるキャラ弁の教科書』MAA (主婦の友社) 2017 年 596</p>	<p>作って楽しい・見て可愛い・食べて美味しいキャラ弁の作り方を紹介。むずかしいスキルのいらない、毎日使えるキャラ弁、たいせつな日の記念のキャラ弁、おうち&お皿で楽しむデコごはんのレシピを収録。</p>